



本巣市 議会だより

第35号



contents

- 平成24年第3回定例会開かれる……P. 2
- 定例会で決まったこと……P. 4
- 10議員が一般質問に立つ……P. 5
- 委員会活動……P.10
- 審議結果および各議員の表決……P.11
- 市民の活動広場……P.12

※P3に表紙の写真説明

●発行：本巣市議会 ●TEL：0581-34-5027 ●2012年8月1日

●平成24年第3回定例会開かれる●

平成24年 第3回定例会開かれる

6月8日～6月29日、平成24年第3回定例会を開き、補正予算1件、
工事請負契約の締結1件、先の第2回定例会にて継続審査となっていた請願1件、
意見書2件等を審議・決定しました。

▶瀬川 治男議員



▶若原 敏郎議員



全国市議会議長会・東海市議会議長会から功労者表彰

第3回定例会閉会后、遠山議長より表彰状(10年表彰)が伝達されました。

日時	場所	会議名等
7月25日(水)	本庁舎	議会運営委員会
7月17日(火)	本庁舎	議会だより編集特別委員会
7月10日(火)	本庁舎	議会だより編集特別委員会
7月6日(金)	下呂市	第268回岐阜県市議会議長会
7月3日(火)	本庁舎	議会だより編集特別委員会
6月29日(金)	本庁舎	議会だより編集特別委員会 本会議(閉会)
6月28日(木)	西濃環境整備組合 本庁舎	西濃環境整備組合 議会臨時会 全員協議会
6月26日(火)	本庁舎	議会運営委員会
6月25日(火)	糸貫分庁舎	産業建設委員会協議会
6月25日(月)	真正分庁舎	文教福祉委員会協議会
6月22日(金)	本庁舎	総務企画委員会協議会
6月21日(木)	本庁舎	本会議(一般質問)
6月20日(水)	本庁舎	本会議(一般質問)
6月12日(火)	本庁舎	議会運営委員会 全員協議会
6月8日(金)	本庁舎	本会議(開会) 全員協議会
6月1日(金)	本庁舎	議会運営委員会 もとす広域連合 議会臨時会
5月30日(水)	閑観光ホテル	中濃十市議会議長会議
5月28日(月)	本巣消防本部	本巣消防事務組合 議会臨時会
5月25日(金)	本庁舎	もとす広域連合 議会運営委員会
5月24日(木)	砂防会館	第104回代議員会
5月23日(水)	日比谷公会堂	市議会議員共済会
5月21日(月)	本庁舎	第88回全国市議会議長会定期総会 総務企画委員会
5月15日(火)	本庁舎	ぎふ清流国体・ぎふ清流大会 本巣市実行委員会第2回常任委員会 ぎふ清流国体・ぎふ清流大会 本巣市実行委員会第3回総会

議員活動日誌

● 国に対する意見書を提出 ●

議員提案による 意見書を可決

原子力発電所の再稼働に慎重な対応を求める意見書(要旨)

政府は、関西電力大飯原子力発電所の3号機及び4号機について、稼働停止状態が継続した場合、今夏、電力不足に陥る可能性があるとの判断から、急遽定めた安全基準に適合しているとして、再稼働を正式に決定した。

私たちは、この度の原発事故で、放射性物質拡散の影響は計り知れないことを学んだ。福島第一原発事故の検証は終わっておらず、なし崩し的に原発を再稼働させようという姿勢では国民の理解は到底得られない。

原発の安全性と電力供給のひっ迫は、同列に論じるべき問題ではない。

国においては、原子力発電所の再稼働については、政府、国会、民間の事故調査委員会の最終報告を踏まえ、専門家による新しい安全基準を策定すること。早急に原子力規制庁を発足させ、新しい安全基準を法制化すること。並行して、今回の原発事故に対する各組織の責任と事故の検証を十分に行うことを前提条件として、その上で原子力発電の安全性及び再稼働の必要性について十分な説明を行うなど、立地自治体をはじめ周辺自治体も含めた関係者や、国民の理解を十分に得ることを強く求める。

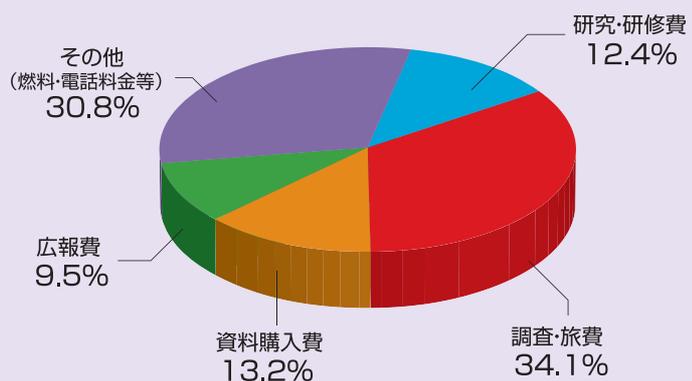
政務調査費の使途を公表します

本巢市では、議員の調査研究にたいする経費として、月額2万円の政務調査費が交付されます。

政務調査費の使途については、調査研究活動の実績報告書及び収支報告書を年度終了後に議長に提出することになっています。

平成23年度は議員18名のうち、17名が政務調査費の交付を受け、総額約351万円が支出されました。

平成23年度政務調査費使途明細



表紙写真



平成24年8月13日(月)にモレラ岐阜駐車場において、本巢市連合青年団とジュニアリーダーが運営する「踊夏祭」本巢市盆踊り大会が開催されます。

やぐらを中心にも多くの方が大きな踊りの輪をつくり、金魚すくいや輪投げなどの模擬店が出店されるなど、子どもからお年寄りまで楽しむことができます。

表紙の写真は、昨年度開催された盆踊り大会の様子です。

● 定例会で決まったこと ●

24年度一般会計補正予算など決まる

糸貫西幼児園改築へ

今議会で決まった主な内容をお知らせします。

本巢市一般会計補正予算(第1号)

6637万円追加、総額156億9637万円

歳入

国庫負担金(子ども手当から児童手当への制度変更にもなう減額)	△3522万円
国庫補助金(社会資本整備総合交付金の増額など)	4352万円
寄附金 1件(安藤文庫)	200万円

歳出

老人福祉費(救急医療情報キットの購入など)	244万円
社会資本整備総合交付金事業費(西部連絡道路、糸貫7号線、本巢1011号線等)	3511万円
通学路安全マップ作成委託料等	234万円
小学校・中学校教育振興費(図書購入費)	200万円

議決された議案

- ・人権擁護委員候補者の推薦 …… 河村 泰子 氏
- ・糸貫西幼児園改築工事(建築)請負契約の締結

契約金額:5億4075万円 ≪電気設備、機械設備工事含め 7億278万円≫
 工 期:平成25年2月28日
- ・もとす広域連合規約の変更

専決処分

- ・市税条例の一部改正(承認)
- ・中部圏都市開発区域の指定に伴う固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正(承認)
- ・国民健康保険税条例の一部改正(承認)
- ・23年度本巢市一般会計継続費繰越計算書(報告)
- ・23年度本巢市一般会計繰越明許費繰越計算書(報告)

経営状況の報告

- 本巢市土地開発公社
- 財団法人織部の里もとす
- 財団法人NEO桜交流ランド
- 財団法人NEOふるさと財団
- 株式会社うすずみ特産

請願・意見書

- ・消費税増税に反対する請願(採択)
- ・原子力発電所の再稼動に慎重な対応を求める意見書(可決)
- ・消費税の増税に慎重な対応を求める意見書(否決)

●一般質問●

Q&A

6月定例会

10議員が一般質問に立つ



大西 徳三郎 議員

Q 岐阜関ヶ原線4車線化の整備は

主要地方道岐阜関ヶ原線は大野・神戸ICへのアクセス道路でもあり、道路沿線には大型店や各種店舗があり、本市にとって将来のまちづくりの核となる道路です。

4車線化の今後の整備計画と樽見鉄道との交差は「平面交差で整備を」と強い要望があります。

A 県がおこなう関係者との協議、検討結果を注視し、早期整備を要望します

大熊・産業建設部長

4車線化事業は平成8年度から着手し、軽海から根尾川大橋までは、今年8月が完成目標です。昨年度から第2期工区として宗慶・軽海間で一部工事着手しています。

樽見鉄道との交差は、「道路法」や「踏切道の拡幅に係る指針」で基準があり、平面交差については、2車線までです。県では、踏切部の構造につい

て関係機関と協議を進め、早期に整備ができるような手法を検討するとされています。

Q 県道網の再編を

県道と市道を再編（付け替え）し、生活道路は市道に、幹線道路は県道にすることが、まちづくりの一役となることを提起しています。

A 根尾川左岸堤防道路は県道認定を要望しています

大熊・産業建設部長

並行する県道田ノ上屋井線は市道受け入れを念頭に要望します。

市道3081号線（通称高専道路）の県道北方真正大野線への読み替えは、政田地内での交差点改良工事を実施中であり、現段階では要望はしていません。今後は、県道網の再編を要望するかを検討するとともに、必要な改良は県に要望していきます。



鵜飼 静雄 議員

Q 本巢地域の留守家庭教室の見直しを

現在、本巢小体育館3階で実施しています。防災面、子どもたちの安全が心配です。あり方を見直すべきでは。

A 可能な限り早期に検討

林・健康福祉部長

施設については、小学校の空き教室等も考慮していきます。

Q 財団の統合は早期に

厳しい経営状況にある桜交流ランドとうすずみ特産の統合は、施設面・人事面から効果的だと考えます。可能な限り早期の統合を。

A できるだけ早く統合

青木・副市長

27年度の計画ですが、統合の手法を検討し、できるだけ早い時期にできるよう考えます。

Q 長良糸貫線の現状は

市民への情報提供を

A 一部地形測量に着手

大熊・産業建設部長

東海環状自動車道（仮称）糸貫インターの供用時期を目

標に、国道157号と長良糸貫線の改良が予定され、昨年度から一部測量に着手しています。

現況等の市民への周知は、広報等でおこないます。

Q 保育の後退ないように

子ども・子育て新システムに関連してうかがいます。

A 保育の質は低下させない

藤原・市長

制度の動向を注視しつつ、市では、保育の質を低下させないように進めます。

Q 生活保護をめぐる問題について市長の見解は

保護基準の引き下げや扶養義務強化は、餓死や孤立死など、さらに深刻な事態になりかねません。

A 景気対策・雇用対策が早急に取り組むべき課題

藤原・市長

制度見直しの議論には、現状分析、増加要因への対策が必要。景気の回復、働く場所を創り出すことが肝要です。

● 一般質問 ●



江崎 達己 議員

Q 行財政改革について

実施計画の推進に向けた更なる取り組みとして

Q1 各課で最低一つ事務事業のブラッシュアップの取り組みを

A1 前向きに取り組みを検討

石川・企画部長

事務事業の経費の削減や事業効果を上げる手法として検討します。

Q2 防草ブロックの導入を

手間の掛る道路脇の雑草管理として、防草ブロックを導入し経費の削減を図ってはどうか。

A2 効果を検証し使用を検討

大熊・産業建設部長

新技術の採用による経費削減は重要であり、施工場所を視察し試験施工をおこない、効果を検証し使用を検討します。

Q 本市の防災について

地震・土砂災害・火災等の防災の新たな取り組みとして

Q1 狭い道路に面する木造住宅密集地域の防災対策は

集地域の防災対策は

A1 今年度より自主防災組織活性化補助事業を新設

川村・総務部長

木造住宅耐震診断事業・建築物等耐震化促進事業・狭あい道路後退用地整備事業、さらに地域の防災力の向上を図るため、自主防災組織活性化事業補助を新設しました。

Q2 消防用バイクの導入を

消防車が入れない狭い路地でも渋滞した道路でも進入し初期消火、情報収集、医薬品等の緊急搬送にも活用できるバイクの特性が見直されていますが導入してはどうか。

A2 有効性について消防本部に助言します

消防本部は、現装備・人員の有効活用を図ることで、消防用バイクの役割を担うことが可能なため、消防用バイクの導入は今のところ考えていません。市としては、消防用バイクの有効性について助言をおこなっていきたく考えています。



鰐本 規之 議員

Q 糸貫西幼児園の建設資材は

以前の質問において、子どもに悪影響を与えるおそれがある物質の検査方法について、現在の6品目から13品目に拡大すること。また、木材の使用を増やすことも合わせて、要望しました。

新しく建設される、糸貫西幼児園では、どのように配慮されましたか。

A 木材使用を拡大し、指針に基づき測定を実施します

林・健康福祉部長

床や建具以外の廊下の腰下部分にも木材を使用する配慮をしています。床材については、県産材を使用する予定です。

有害物質については、学校環境衛生基準に基づき、6品目に加え、厚生労働省の化学物質の室内濃度指針値にある、残りの7品目についても、合わせて濃度測定を実施していきたく考えています。

Q モレラ北の市有地を多目的

な芝生公園へ

現在、市有地となっているモレラ北の土地購入時の目的は、糸貫の西、東幼児園の統合施設、下水処理場、ごみのストックヤード、防災倉庫などの建設でしたが、現在は学校給食センターだけの建設利用となっています。

購入目的以外での土地利用には問題もありますが、長年放置することは有効な土地利用とはいえません。合併特例債の期限内に、市長の勇氣ある決断が必要です。

A 最も有効的な活用方法を検討

藤原・市長

市の財政状況が年々厳しくなると予想される中、新たな施設を整備することは大変難しい状況です。

しかしながら、東海環状自動車道の糸貫インターがすぐ近くにできるため、2020年の全線開通に向け、地の利を踏まえ、民間活力の導入も含めて検討をしていきたく考えています。

● 一般質問 ●



黒田 芳弘 議員

Q 一貫性があり、透明性が高い発注方法を

Q1 一括と分離発注の長所短所は。
Q2 同種同規模の本巢保育園と糸貫西幼稚園の発注方法を一括と分離に相違された理由は。

Q3 事前の議会への説明責任は。
A 契約規則等に基づいており、特殊な方法は行っていません

A1 一括：設計金額が低く、管理が円滑におこなえます。
分離：品質面で期待ができるが、設計金額は上昇します。

A2 本巢保育園は経費削減と管理の負担軽減で一括としたが、国の中小企業受注拡大要請により西幼稚園は分離とした。

A3 疑念をもたれるようなことなく、必要はないと考えます。

Q 原発の安全性と電力不足は別々の問題と考えますが

Q1 今夏の電力不足の情報と本市の節電対策は。

Q2 原発再稼働への見解と対応は。

A 今回の再稼働判断は拙速です

A1 22年度比5%以上の要請があり、広報で呼びかけ、庁舎では従来通り節電に努めます。

A2 安全性の確保が第一で、今回の判断は将来に不安を先送りとなる。原発事故から市民を守る対策を協議していきます。

Q 今後の震災復興への思いは

Q1 現在の支援の状況は。
Q2 被災地支援の絆が薄らいだように感じます。早期の復興へ向け、今後、どのような思いで行動していくのか。

A 要請があれば可能な限り支援

A1 日本赤十字社への義援金受付の継続と、職員派遣を予定。

A2 復旧復興への取り組みが遅れており、被災者の健康管理や精神的なケアも課題です。要請があった、保健師の派遣を予定しています。



船渡 洋子 議員

Q 通学路の安全対策について

通学路における交通事故が連続して起きているため、緊急合同点検を8月31日までに実施すると聞いていますが。

Q1 通学途中の事故の実態は
A1 中学生の事故が2件発生

本年度は中学生の自転車と車の接触事故です。昨年度は6件で小学生は1件、中学生は5件でした。

Q2 総点検での安全対策の取り組みは

A2 学校教育・建設・総務の3課で合同点検
通学路の点検は、8月末までに道路管理者、地元警察署と再度見直します。

Q3 歩道や、ガードレールの設置路側帯を拡張、カラー舗装など、ハード面の取り組みは

A3 危険な箇所は計画的に取り組みます
高橋・教委事務局長
学校周辺のカラー舗装化など、その都度対応します。

Q ガラス飛散防止フィルムの導入は

学校の耐震化は、構造部が改善された反面、天井材や照明器具、窓ガラスなどの非構造部材の耐震化が遅れています。

A 非構造部材の点検実施
高橋・教委事務局長
専門家による点検をおこない、国の補助制度を活用し、耐震対策を計画的に取り組みます。

Q 熱中症対策に、ミストシャワーの設置を

ミスト散布機を使って、水道水を霧状に噴射し、気化熱で周囲の温度を下げる効果があります。霧は素早く蒸発するため、手足や服はぬれず、気温を約3度下げるといわれています。設置費用も安価ですむミストシャワーの導入を。

A 熱中症対策の工夫
高橋・教委事務局長

屋外活動の対策はグラウンドの散水、テントなどで日陰の確保などに努めています。ミストシャワーの設置も各学校に紹介します。

● 一般質問 ●



白井 悦子 議員

◎ 小水力発電について

東日本大震災後、自然エネルギーが大変重要視されています。本巢市においては、平成24年3月に、水を利用した小水力発電機が神海地内の水路に設置されています。

◎ Q1 利用実態は

A1 農道の照明と自然エネルギーの利用啓発

大熊・産業建設部長

今後は、市鳥獣被害防止対策協議会と連携し鳥獣害防止電気柵の電源としても利用する予定です。

◎ Q2 管理状況は

発電機の周囲に川藻が付着したり、枯れ草や葉などがひっかかり、汚れた状況がみられることもあり、水資源の点でも地元との連携が必要だと思えますが、**A2 自治会に管理委託を**

現在はモデル事業として設置

していますが、鳥獣被害防止柵設置後、自治会と詳細につき協議し、委託する予定です。

◎ 「つすずみ桜のE1」おもしろなし事業について

前年より、3倍近い額でしたが本年は、雨により、市部局ならびに関係者の皆さんは、大変ご苦労されたと思います。

当事業は、予算面において、前年より、3倍近い額でしたが本年は、雨により、市部局ならびに関係者の皆さんは、大変ご苦労されたと思います。

◎ Q1 アンケートの実施結果は

石川・企画部長

A1 現在、応募期間中
6月11日現在、759人から回答があり、結果は6月30日の応募期間終了後集計します。

◎ Q2 文化協会の方の出場状況は

A2 延べ、159人が出演

4月7日から13日までの期間中の延べ3日間に、美濃もとす太鼓、日本舞踊、大正琴、コーラスなど10団体の出演でした。

◎ Q3 今後の対策は

来客者に対し、歓迎の心配りを再考し、よりよいおもてなし事業の実施を願います。

◎ A3 総合的な内容を検討します

観光協会、各種団体と協働し、開花状況や天候に左右されない開催方法を検討します。



高田 文一 議員

◎ 東日本大震災により生じたがれき(災害廃棄物)の広域処理について

調査に、西濃環境整備組合での受け入れについて、構成市町で安全性や地域住民の理解、焼却灰の最終処分場への搬入受け入れについて、十分な協議が必要と回答。また、処理量が4割減少したとのこと。

◎ Q1 岐阜県の通達や連絡等は

A1 アンケートがありました

藤原・市長

調査に、西濃環境整備組合での受け入れについて、構成市町で安全性や地域住民の理解、焼却灰の最終処分場への搬入受け入れについて、十分な協議が必要と回答。また、処理量が4割減少したとのこと。

◎ Q2 本巢市としての考え方は

A2 市には処理施設がなく、受け入れる余地はありません

◎ Q3 西濃環境整備組合における確認事項は

A3 3つの条件を設定

一、放射能物質の安全基準の明確化。

二、いちばん重要な地元住民の同意を得ること。

三、国が最終処分場を確保する。

Q4 住友大阪セメント(株)の情報は

A4 県からの要請はないと聞いています

岐阜工場では県の要請はないが、安全性の確保・地域住民の理解が前提とのこと。

◎ 「文殊の森」公園について

Q1 家族等が楽しめるローラー滑り台の整備は

A1 修繕方法を検討し、早期に実施します

大熊・産業建設部長

◎ Q2 ハイキングコースとして延長等の整備は

A2 来訪者のニーズや既存施設の利用状況も踏まえ考えます

◎ Q3 周辺の森林等を活用しての森林浴は

A3 表示看板等で周知を図ります

森林浴の場として、さらに多くの人々が訪れ楽しめるよう、周知を図る検討をします。

◎ A 高齢者の避難個別計画等は

A 計画を作成します

林・健康福祉部長

民生委員や福祉サービス事業者と協力し、体制の強化について検討し、作成します。

山田・市民環境部長



●一般質問●



安藤 重夫 議員

Q 山口頭首工の整備を

山口頭首工は、護床材の50%が崩落し、空洞化しています。耐震診断の結果は、-3~-4と聞いていますが事実ですか。また、市のハザードマップ作成時にこの頭首工がカットされているのはなぜか。頭首工の取水ゲートが崩壊すれば伊自良川西域の岐阜市西郷から河渡まで、北方町、瑞穂市におよぶ洪水被害は甚大なものになります。頭首工に対する取り組みを厳格に受け止めてほしいと願います。

A 関係市町と協議し、できる範囲で協力

藤原・市長

耐震診断の結果については、席田井水土地改良区及び木曾川上流河川事務所に確認しましたが、耐震診断をおこなった事実を確認できませんでした。市民の生命、財産を守るのは市長として当然であります。今後、管理者から要望などがあれば、頭首工の決壊などによる下流域の

被害を未然に防ぐため、関係市町と協議し、できる範囲で協力していきたいと考えています。

また、マップは合併前旧町村単位で作成をしている関係上、本巢地域のマップのみ掲載していません。

Q 根尾川の浚渫が進みませんが今後の見通しは

A 河川状況の変化を注視し、国に対して必要な要望をおこなう

大熊・産業建設部長

木曾川水系河川整備計画が平成20年3月に策定されました。概ね30年間の整備目標により計画的に進められています。河川管理上支障となる樹木については、昨年度に続き伐採が予定されています。土砂の異常堆積や樹木の成長具合など河川状況の変化を注視し、国に対し、必要な要望をおこなっていきたくと考えています。



若原 敏郎 議員

Q 震災がれきの受け入れは

岩手県・宮城県においては、地震と津波による「がれき」が復旧・復興の障害になっている。全国各地で処理すれば数年で完了し大きな支援に繋がると考えます。本巢市としての考えは、

Q1 岐阜県から西濃環境整備組合に要請は

A1 アンケート調査がありました

藤原・市長

市は「受け入れられない」、西濃環境整備組合は「検討している」と回答しました。

Q2 西濃環境整備組合では受け入れ可能ですか

A2 最終処分場がないので厳しい

当初の木くず・可燃ごみから、不燃物の受け入れ要請が変わってきています。

Q3 広域処理は必要と考えますか

A3 まずは被災地で

災害廃棄物の発生総量の見直しがあり、当初広域処理を要請していた量が減少しました。

Q 原子力発電所の再稼働は

国は、関西電力大飯原発3・4号機を再稼働すべきと示しま

した。私は、人間では制御できない事故が起きる可能性があるのが原発との認識から将来的には原発に頼らない社会をと考えますが、市長は、

A 再稼働については近隣自治体として県と対策協議

藤原・市長

今回の大飯原発は、安全性の検討・被害の予想される地域への説明が充分されていないため拙速と考えます。

今後は県と連携を図りながら、市民を守る対策を進めていきます。

Q 緊急速報「エリアメール」サービスについて

A1 配信される情報の内容は

避難情報・災害情報・国民保護に関する警戒情報です

川村・総務部長

Q2 機種種の拡大は

A2 NTTドコモは昨年7月からソフトバンクモバイル・KDDI (au) は利用開始に向けて手続き中です。

● 委員会活動 ●

委員会活動

総務企画委員会

5月21日(月)

審査案件

消費税増税に反対する請願 不採択

- ・ 国の財政状況から経費節減も必要であるが、消費税増税はやむを得ない。
- ・ 日本の将来を見据えると消費税増税に賛成せざるを得ない。

総務企画委員会

(協議会)

6月22日(金)

協議案件(関係部分)

1. 24年度本巣市一般会計補正予算(第1号)
2. 各種協議会等委員の選出について
職員研修について

文教福祉委員会

(協議会)

6月25日(月)

協議案件(関係部分)

1. 24年度本巣市一般会計補正予算(第1号)
2. 震災がれきの処理について
3. 緑のカーテン設置事業について
4. 生活保護の現状について
5. がん検診の受診率向上について
6. 学校給食における食物アレルギーの対応について
その他



▲真桑小学校 視察

産業建設委員会

(協議会)

6月26日(火)

協議案件(関係部分)

1. 24年度本巣市一般会計補正予算(第1号)
2. 東海環状自動車道の休憩施設について
3. 樹園地における焼却処分について



▲金原・鍋原浄化センター 視察

● 審議結果および各議員の表決 ●

(議決結果に賛成「○」、反対「×」。欠席、除斥等による不参加「-」。議長(遠山 利美氏)は採決に加われないので「/」で表示)

		平成24年第3回定例会																				
		議員名(議席番号順)	議決結果	江崎 達己	鏑本 規之	黒田 芳弘	船渡 洋子	臼井 悦子	高田 文一	高橋 勝美	安藤 重夫	道下 和茂	中村 重光	村瀬 明義	若原 敏郎	瀬川 治男	後藤 壽太郎	上谷 政明	大西 徳三郎	遠山 利美	鵜飼 静雄	
市長提出議案	報告第 2号	専決処分の承認を求めることについて(本巣市税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	報告第 3号	専決処分の承認を求めることについて(中部圏都市開発区域の指定に伴う本巣市固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	報告第 4号	専決処分の承認を求めることについて(本巣市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	議案第 59号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	議案第 60号	工事請負契約の締結について(糸貫西幼稚園改築工事(建築))	可決	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	議案第 61号	もとす広域連合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	議案第 62号	平成24年度本巣市一般会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
議員提出議案	発議第 4号	原子力発電所の再稼働に慎重な対応を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	発議第 5号	消費税の増税に慎重な対応を求める意見書について	否決	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	-	×	×	/	○	
請願	議案第 1号	消費税増税に反対する請願について	採択	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	/	○	

最高裁が上告を棄却 情報公開関係の訴訟

議会の秘密会の会議録などの公開を求めて市(議会)を訴えた裁判で最高裁判所は3月27日、上告棄却を決定し、基本的に市(議会)側の主張を認めました。

この訴訟は、「議会の規律に関する検討委員会」が秘密会で開かれたため、会議録等を非公開にしたことを不服として鏑本議員が提訴、「行政文書非公開決定処分取消及び行政文書公開処分義務付け」および「個人情報非開示決定処分取消及び個人情報開示処分義務付け」を求めたものです。(形式上は市長が相手ですが、実質的には議会が当事者です。)

今回の決定は、岐阜地裁、名古屋高裁の判決を不服として鏑本議員が上告したことにたいする最高裁の判断で、その「主文」は、

- 1、本件上告を棄却する。
- 2、本件を上告審として受理しない。
- 3、上告費用及び申立費用は上告人兼申立人の負担とする。

【事件の背景】

平成21年10月6日開催の第5回議会臨時会における正・副議長選挙の投票の際、投票用紙を破ったこと、許可なく議事を録音し公表したことについて、事実関係の調査と規律違反の有無を検討し、議長に意見具申をするため、「議会の規律に関する検討委員会」を設置しました。

正・副委員長を選出した第1回の会議を除き、2~4回の会議は、「個人に関わることのため」秘密会としました。

【裁判の経過】

- ・平成21年12月28日 鏑本議員の公開請求に対し、議会は非公開決定を通知。
- ・平成22年11月24日 岐阜地裁 第1回の文書の非公開取り消しその他の請求は棄却。
- ・平成23年9月8日 名古屋高裁 控訴を棄却(以上は「行政文書」に関するもの。「個人情報」に関するものは、日付以外は同様です。)

●市民の活動広場●

根尾中のオカリナ活動

登校後の教室から、昼休みの校舎から、美しい音色が響いてくる根尾中学校は、オカリナ演奏を通して特色ある教育活動を推進しています。

♪ 宗次郎淡墨桜コンサート

8月に根尾うすずみ公園で開催される市主催「宗次郎淡墨桜コンサート」への出演は恒例となっています。昨年度は、東日本大震災チャリティーコンサートとして、未曾有の被害に遭われた方々へ美しい音色を届けたいと心を込めて演奏をさせていただきました。今年度は、20周年記念企画のコンサートとなります。



♪ 3・11ぎふ祈り・絆プロジェクト

3月には、震災復興を祈念する「3・11ぎふ祈り・絆プロジェクト」に参加しました。長良川河畔にて、鎮魂の祈りの演奏となりました。このプロジェクトは、岐阜と石巻との絆を育むこと、また「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」で用いられる「清流こよみぶね」にも思いをつなげるものでした。

♪ オカリナでおもてなしする桜学習

オカリナを通じた様々な出会いやつながりの中で、伝統のオカリナを受け継ぎ活動してきました。

4月の桜学習では、ふるさとの桜を誇りとして観光客の方々に手作りパンフレットを配り、「さくら」を演奏します。そのお礼として、県内外の方々から届く便りに励ましをいただいています。



〈今後のオカリナ活動〉

平成24年

8月18日(土) うすずみサマーフェスティバル
「宗次郎淡墨桜コンサート」出演
9月29日(土) ぎふ清流国体開会式典前演技に出演

平成25年

2月17日(日) ほほえみジュニア文化祭にて演奏

小学校6年生になると、オカリナを初めて手にし、先輩に教えられ、次の学年へと伝えていくのですが、郷土根尾を愛する心と人を大切にする心を育むものとなっています。このようなつながりに感謝しながら、今後も感動を伝え続けたいと思います。



議会だより編集特別委員会

◎鵜飼静雄 ○江崎達己 若原敏郎 高橋勝美 黒田芳弘